

先端モデル事業 対象公園の概要

十和田八幡平国立公園（十和田湖地域）

- 選定のポイント：利用拠点の再生による新たな魅力づくり

- 概要：

十和田湖地域は青森県・秋田県にまたがる。八甲田山、十和田湖、奥入瀬溪流などがある山と湖と溪流の公園。十和田湖地域の利用拠点の一つである休屋地区は、環境省所管地の集団施設地区で、多数の廃屋の撤去を進める中、跡地の活用が課題となっており、北東北観光の宿泊拠点となることが期待される。国立公園満喫プロジェクトの先行8公園の一つ。



十和田湖



休屋集団施設地区

中部山岳国立公園（南部地域）

- 選定のポイント：山岳地域の利用の高付加価値化を含めた広域連携

- 概要：

南部地域は長野県・岐阜県にまたがる。北アルプス一帯を占める我が国を代表する山岳公園で穂高連峰や槍ヶ岳、乗鞍岳など標高3,000m級の山々や、上高地、乗鞍高原、新穂高、平湯等の標高1,500m前後の高原地域で構成。松本高山Big Bridge構想に取り組むなど広域連携を推進している。国立公園満喫プロジェクト先行8公園に準ずる+3公園の一つ。



3,000m級の山岳景観



高原地域でのアクティビティ

大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）

- 選定のポイント：日本の伝統的自然観や歴史文化を踏まえた自然体験の拠点づくり

- 概要：

大山蒜山地域は鳥取県・岡山県にまたがる。中国地方最高峰の大山はじめ、蒜山、三徳山などの火山群とその山麓の高原地帯からなる。大山は古くから信仰の対象とされ今日でも参詣道が残っているなど、自然と歴史文化の関わりが豊かな地域となっている。国立公園満喫プロジェクト先行8公園の一つ。



大山登山



たいまつ行列（大山寺地区）

やんばる国立公園

- 選定のポイント：世界自然遺産周辺における自然を活用した地域活性化

- 概要：

沖縄島北部に位置し、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がる。ヤンバルクイナなど固有で希少な動植物が多く生息・生育し、カルストやマングローブ林など多様な自然環境を有する。集落では、自然の恵みに感謝しながら日々の生活が営まれており、そのような生活文化が色濃く残っているのも特長。2021年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として世界自然遺産に登録。



やんばるの亜熱帯照葉樹林



森林トレッキング